

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	君の未来・東宝珠花教室		
○保護者評価実施期間	R7年2月3日 ～ R7年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	R7年2月3日 ～ R7年3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との連絡を密に行っている。	・連絡の手段としてICTを導入している。 ・面談や相談は迅速に対応している。	・相談された内容を職員全体に共有する仕組みをより充実させる。
2	心理検査によるアセスメントを実施している。	心理検査及び、ポータジプログラムを評価基準として導入している。	心理検査、日々の評価で得られた情報を更にプログラムに反映させる。
3	児童や保護者に対する時のホスピタリティ	・一人一人に寄り添った支援を心掛けている。	・今後は研修も実施し、知識として身に付けよりよいホスピタリティを実践できるようにする。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の構造化。	・児童の安全を担保するには活動室が広い。	・安全性を考慮し支援内容によって、広さを調節する。 ・子どもたちが情報を整理をしやすいよう視覚支援を行っていく。
2	地域との交流や保護者や兄弟交流の機会が乏しい。	・感染対策の強化の為。 ・保育園や幼稚園との併用が多く、交流会の日程調整が難しい。	・保護者様ニーズを把握し日程や内容を検討、保護者交流会を年に1回開催を検討していく。 ・感染対策に気を付けながら兄弟交流や地域交流が行えるように検討していく。 ・当事業所以外での交流できる場を把握し紹介する。
3	・職員全体への情報共有の難しさ	・送迎業務のため、ミーティングの途中で職員が離脱することがあり、その後すぐに支援が始まり、共有事項の漏れが起こる。	・ホワイトボードに必要事項を記載し、全員に周知する。 ・ミーティングに参加した職員が伝え、また参加できなかった職員は自発的に内容を確認することを意識する。